

活動(研究)報告書

研究内容

不登校支援でとても重要なのが、子どもの居場所や法人での運営です。

子どもがフリースペースから卒業して学校に戻る事は嬉しい事であるが、運営をする上で会費などの収入が入らない状況になってしまいます。介護保険法や自律支援法など一定のお金が収入となる訳ではありあません。子どもが1回や月で利用をする事で収入が入ります。そこで、愛知県内で不登校を支援している NPO がどんな経営をしてどの様な援助金や補助金を貰い運営されているのかを調べました。

愛知県内の NPO がどの様な収入で運営されているか。

NPO 独自の収入	国・市町村などからの収入	財団や基金からの援助
入会費	名古屋市電話相談委託事業	NPO 法人ステップアップ事業補助金
月での利用料	地域若者サポートステーション事業	WAM かの助成金
1 回の利用料	放課後児童対策事業費	
寄付金		
バザーなどの活動		
講演費		
カウンセリングや訪問事業		

(愛知県内の不登校を支援している NPO の収支報告書からの掲載)

上の図 0 の様に不登校支援の他に学童保育やニート支援や就労支援などひきこもりを子ども中心から大人まで中心で支援をしていると分かります。

他にも調べた結果さまざまな財団や基金からの援助金をもらえると知りました。

財団・基金名	助成内容
NPO 法人モバイルコミュニケーションファンド	子どもを守る」をキーワードにさまざまな取り組みをしている市民活動団体を対象として公募し、支援を行っています
オールアイシンNPO 活動応援基金	営利を目的とせずに次の活動を実施する、愛知県内の団体・組織 (A)「社会福祉活動の推進」 (B)「地域発展・街づくり活動の推進」 (C)「青少年育成活動の推進」 (D)「自然・環境保護活動の推進」
共同募金	施設や民間社会福祉団体のための資金を計画的に一元化し、寄付金を募集、管理、配分し、総合的な調整をはかっていくことにあります。

メンタルフレンドについて

メンタルフレンドでは、愛知県内の不登校児童の心の友として、話し相手などをします。ここでは、教育・心理・社会福祉等を選考する児童の自律を援助していくことをねらいとしています。

愛知県では、フリースクールや適応教室での支援がとても多いです。

参考にした NPO 一覧

認証 年月日	主たる事務所 の所在地	活動分野	団体名 (特定非営利活動法人は省略)
2002-01-21	蒲郡市三谷北通	社会教育	青少年自立援助センター北斗寮
2002-08-08	名古屋市中村区	保健・医療・福祉	名古屋オレンジの会
2003-05-02	名古屋市昭和区	子どもの健全育成	このゆびとまれ
2003-06-04	名古屋市東区泉	子どもの健全育成	フォーブル
2003-07-18	名古屋市中区丸	子どもの健全育成	名古屋NCS教育支援センター
2003-08-06	名古屋市中村区	子どもの健全育成	愛知教育支援センター
2003-12-16	江南市東野町郷	子どもの健全育成	教育総合研究所 ひかり学園
2004-02-26	瀬戸市菱野台3	子どもの健全育成	こどもの杜
2004-10-15	一宮市本町1丁	職業能力・雇用機	自立と共生をめざす会<もやい>
2005-01-19	名古屋市天白区	子どもの健全育成	家庭教育再生機構
2006-07-26	名古屋市港区当	学術・文化・芸術	アクティビート
2006-12-20	名古屋市東区泉	子どもの健全育成	子どもセンター「パオ」
2007-03-23	豊川市上長山町	子どもの健全育成	いまから
2007-04-23	名古屋市東区筒	保健・医療・福祉	自律・社会復帰支援センターポコ・ア・ポコ
2007-07-13	小牧市小牧原新	保健・医療・福祉	青少年生活就労自立サポートセンター名古屋
2007-12-07	名古屋市西区香	子どもの健全育成	バウム カウンセリングルーム
2008-05-28	田原市田原町池	子どもの健全育成	ゆずりは学園
2009-02-27	名古屋市中区金	子どもの健全育成	OMC
2009-04-24	半田市本町7丁	子どもの健全育成	共育ネットはんだ

まとめ

この研究をして、NPO がさまざまな基金や財団から支援を貰う事や不登校支援だけではなく、学童保育や自立支援などの援助など様々な支援を組み合わせる支援をしていると感じた。

この課題を検討する上で愛知県では、不登校になっている学生は小学校では 1,652 人、中学校では 6,593 人で、1,000 人あたりの不登校児童生徒数は 12.6 であるが、実際はそれ以上かもしれない。不登校支援をしている NPO はとても多いけど、地域には他にもたくさんいるのではないかと考えられる

他にも援助金が不足している法人はたくさんあったが、お金だけで解決出来るのが少ないと感じた。対人関係の支援で回りの状況も解決したり、専門職による支援などたくさんエンパワメントが必要ではないと感じる。

参考文献

NPO 法人フリースクール全国ネット

文部科学省

厚生労働省

内閣府

WAMNET

アイシン

赤い羽根募金

NPO 法人モバイルコミュニケーションファンド

オールアイシン NPO 活動応援基金

参考した各 NPO 法人の事業報告書

NPO 法人ばお

あいち NPO 交流プラザ